

Introduction

現在、多くの大手企業で TOEIC を採用や昇進の目安としています。このような企業に就職したい学生さんには、TOEIC での高得点取得は必須です。他方、単に英語力をブラッシュアップさせたい学生さんにとっても、得点の上昇がはっきりと分かる TOEIC は、マラソン大会でランナーが次の通過地点を目標として張り切ることができるように、分りやすい目標値を定められる格好の英語テストだとも言えます。

では、TOEIC で高得点を上げるためには、どうすれば良いでしょうか。地道な努力が必要なことは言うまでもありませんが、それに加え、試験に対する「慣れ」も大切です。高校時代にはあまりなじみのなかったビジネス関連の語彙や表現に慣れること、また TOEIC の試験形式そのものに慣れることです。このテキストでは、TOEIC でよく使われるようなビジネス関連の語彙をできるだけたくさん使用しています。場面設定も様々で、多様な表現に触れることができます。本書で出てきた語彙や表現を全て覚えてしまうだけでも、かなりのスコアアップが見込めます。

また、「慣れるためのポイント」を分りやすく解説しているのも特徴です。TOEIC には TOEIC 独特のパターン化された問題があります。どのようなパターンの問題が出題されると、どういう間違いをしやすいのか、どのように要領良く解答していけばよいのか、などを、「ターゲット」や「解法のポイント」として取り上げて、みなさんの視点に立って分りやすく解説しています。

さらに、多くの学生さんが苦手とする文法も、各章ごとに習得すべき文法項目を設定し、集中的に学習できるようにしています。文法事項の復習を兼ねながら、TOEIC でよく問われる文法ポイントを重点的に学習できるようになっています。

このテキストの各章は、おおよそ1回(90分)の授業で取り組めるように配慮しています。効率のよい学習のためにも、付属のCDを予習・復習に活用して下さい。(英文を読むスピードは、TOEIC本番より若干遅めとなっています。)

本書では、Part 1, 7は全章で、Part 2, 3, 4はそれぞれ3章に1度、Part 5は4, 8, 12以外の全ての章で、Part 6は4, 8, 12章で扱っています。また、4章ごとにそれまで学習した内容の復習のためのReview Testが付いています。特にReview Test 3のリスニングテストは、本番に近い音声スピードになっていますので、本番を見据えた腕試しができます(注: 自習用CDにはReview Testの音声は入っていません)。また、各章の構成やターゲット、解法のポイントの内容は、6～7ページのContentsに分りやすくまとめてありますので、参考にしてください。

本テキストは、2006年から新たに始まった形式のTOEICテストに対応しています。リスニングセクションでは、新形式にあわせた設問形式となっていることに加え、音声面でも新形式同様、アメリカ人、カナダ人、イギリス人、オーストラリア人によるナレーションを実現しています。リーディングセクションも、新しいTOEICで初めて登場した空欄補充形式のPart 6や2つの英文を読んで答える形式のPart 7の問題が含まれています。

また、8～9ページには、TOEICテスト本番で使われるのと全く同じdirectionsも載っています。これは、本番のテストでdirectionsに費やすべき時間を節約できるよう配慮したものですから、あらかじめ読んで頭に入れておきましょう。

このように、本書を十分に活用・習得すれば、本番に備えて「慣れる」ことができ、TOEICに不慣れだったために思ったほどの

スコアが出せなかった，というような後悔はなくなり，皆さんのスコアが改善することは間違いありません．ぜひ，満足のいくところまでスコアを伸ばす努力を始めてみてください．

最後に，本書刊行にあたり，金星堂の佐藤求太さんには大変お世話になりました．この場を借りて御礼申し上げます．

編著者